

8 学年 資料の整理について

最近のニュースでよく聞こえてくる言葉に、範囲、データ、階級、度数などがあります。これは何でしょうか。数学の教科書を参考に説明します。

- ・資料・・・「データ」とも言いますが、高校数学において使う言葉なので、今は「資料」といしましょう。
あることをするうえで、元となる材料。
- ・範囲・・・(最大値) - (最小値)
- ・階級・・・4℃以上6℃未満のような区切り
- ・階級値・・・階級の中央の数値
- ・度数・・・階級に入る日数や個数
- ・度数分布表・・・右の表

階級 (°C)	度数 (日)
以上 未満	
4 ~ 6	2
6 ~ 8	1
・	
・	
・	
18 ~ 20	1
計	28



この区切り、例えば18℃以上20℃未満の幅を『階級の幅』という。
この表の場合の階級の幅は 2℃という。
また階級値は19℃という。

- ・ヒストグラム・・・教科書(中1) P242のグラフ
- ・度数折れ線・・・教科書(中1) P243
- ・相対度数・・・ $\frac{\text{その階級の度数}}{\text{度数の合計}}$
- ・代表値・・・資料の特徴を代表する数値

例 平均値, 中央値, 最頻値(さいひんち)

平均値・・・求め方

- ① 個々の資料の値の合計を資料の個数で割った値。
- ② 度数分布表からの場合 $\frac{\text{階級値} \times \text{度数の合計}}{\text{度数の合計}}$

中央値・・・資料を小さいほうから順に並べた時、中央にある値。

『メジアン』ともいう。

注意 資料の個数が偶数のとき、中央に並ぶ2つの値の合計を2で割った値。

最頻値・・・資料の中で最も多く出てくる値。『モード』ともいう。